

令和 7 年度高知県特別支援教育に関する取組状況調査結果

高知県教育委員会
(令和 7 年 9 月 1 日段階)

校 種		公立小学校		公立中学校		公立高等学校(34校)	
		公立義務教育学校前期		公立義務教育学校後期			
実施対象校数（公立高等学校は課程数）		176 校		93 校		49 課程	
全児童生徒数		27923 名		12389 名		11221 名	
設問 1 ユニバーサル デザインについて	①	全ての教室で、子どもが落ち着き、集中して学習や生活に臨むことができるよう、必要な提示（情報）を精査し、黒板内は授業に不要なものが貼られていないといった環境づくりを行っている。	176 校	93 校	48 課程		
			100.0 %	100.0 %	98.0 %		
	②	全ての教室で、子どもが必要な情報が確実に伝わるよう、口頭による伝達だけでなく視覚化などの手立てを工夫している。	171 校	91 校	49 課程		
			97.2 %	97.8 %	100.0 %		
	③	全ての教室で、子どもがめあて達成へ向けて意欲的に学習することができるよう、動きのある活動を取り入れるなどメリハリのある授業づくりを行っている。	168 校	92 校	46 課程		
			95.5 %	98.9 %	93.9 %		
	④	全ての教室で、学習への興味・関心を高め、学習内容の理解を促すことができるよう、見て分かる、聞いて分かる、体験して分かるなど、子どもの認知処理を生かした教材・教具を工夫している。	164 校	92 校	48 課程		
			93.2 %	98.9 %	98.0 %		
	⑤	全ての教室で、子どもの自己有用感や自尊感情が高まるよう、具体的、視覚的など子どもに伝わる方法で、子ども自身が伸びを実感できる評価を工夫している。	166 校	90 校	46 課程		
			94.3 %	96.8 %	93.9 %		
設問 2 校内支援体制 について	①	特別支援教育学校コーディネーターを指名している。	176 校	93 校	48 課程		
			100.0 %	100.0 %	98.0 %		
	②	校内支援会を定期的又は計画的に実施している。	172 校	92 校	47 課程		
			97.7 %	98.9 %	95.9 %		
	③	外部専門家等の助言等を校内における児童生徒の支援に生かしている。	176 校	93 校	49 課程		
			100.0 %	100.0 %	100.0 %		
	④	学校経営計画において、特別支援教育に関する具体的な取組を位置付けて実施している。	170 校	91 校	41 課程		
			96.6 %	97.8 %	83.7 %		
設問 3 個別の指導計画、 個別的教育支援計 画の作成及び活用 について	①	特別支援学級に在籍している児童生徒 うち、個別の指導計画を作成している児童生徒 うち、個別的教育支援計画を作成している児童生徒	1654 名	702 名		名	
			5.9 %	5.7 %		%	
			1654 名	691 名		名	
			100.0 %	98.4 %		%	
			1650 名	700 名		名	
			99.8 %	99.7 %		%	
	②	通級による指導を受けている児童生徒 うち、個別の指導計画を作成している児童生徒 うち、個別的教育支援計画を作成している児童生徒	360 名	105 名		40 名	
			1.3 %	0.8 %		0.4 %	
			360 名	104 名		40 名	
			100.0 %	99.0 %		100.0 %	
			355 名	104 名		39 名	
			98.6 %	99.0 %		97.5 %	
	③	通常の学級で（通級による指導を受けている児童生徒を除く）、障害のある児童生徒など個別の指導計画の作成を必要とする児童生徒が在籍している学校 うち、作成している学校	149 校	43 校		16 課程	
			84.7 %	46.2 %		32.7 %	
			147 校	42 校		12 課程	
			98.7 %	97.7 %		75.0 %	
		通常の学級で（通級による指導を受けている児童生徒を除く）、障害のある児童生徒など個別の指導計画の作成を必要とする児童生徒数 うち、個別の指導計画を作成し、校内支援会等で情報共有を行いながら、組織的に指導や支援を実施している児童生徒	1890 名	496 名		100 名	
			6.8 %	4.0 %		0.9 %	
			1573 名	359 名		42 名	
			83.2 %	72.4 %		42.0 %	
		通常の学級で（通級による指導を受けている児童生徒を除く）、障害のある児童生徒など個別的教育支援計画の作成を必要とする児童生徒が在籍している学校 うち、作成している学校	79 校	30 校		14 課程	
			44.9 %	32.3 %		28.6 %	
			66 校	25 校		10 課程	
			83.5 %	83.3 %		71.4 %	
		通常の学級で（通級による指導を受けている児童生徒を除く）、障害のある児童生徒など個別的教育支援計画の作成を必要とする児童生徒数 うち、個別的教育支援計画を作成している児童生徒	913 名	313 名		51 名	
			3.3 %	2.5 %		0.5 %	
			818 名	273 名		24 名	
			89.6 %	87.2 %		47.1 %	
設問 4 校種間の引き継ぎ について	①	令和 6 年度末卒業生で、個別の指導計画を作成していた児童生徒 うち、個別的教育支援計画や引き継ぎシート等のツールを活用して引き継ぎを行った児童生徒	617 名	300 名		19 名	
			527 名	259 名		8 名	
			85.4 %	86.3 %		42.1 %	
	②	令和 7 年度入学生で、個別的教育支援計画や引き継ぎシート等のツールを活用して情報を受け取った児童生徒が在籍している学校 うち、個別的教育支援計画や引き継ぎシート等のツールを活用して校内支援会を実施した学校	114 校	72 校		40 課程	
			64.8 %	77.4 %		81.6 %	
			108 校	69 校		34 課程	
			94.7 %	95.8 %		85.0 %	
		令和 7 年度入学生で、特別な支援について口頭や文書で引き継ぎのあった児童生徒 うち、個別的教育支援計画や引き継ぎシート等のツールを活用して情報を受け取った児童生徒 個別的教育支援計画や引き継ぎシート等のツールを活用して情報を受け取った児童生徒のうち、校内支援会等でツールを活用して情報共有や支援を検討した児童生徒	585 名	637 名		279 名	
			433 名	406 名		148 名	
			74.0 %	63.7 %		53.0 %	
	343 名	361 名		112 名			
	79.2 %	88.9 %		76.2 %			